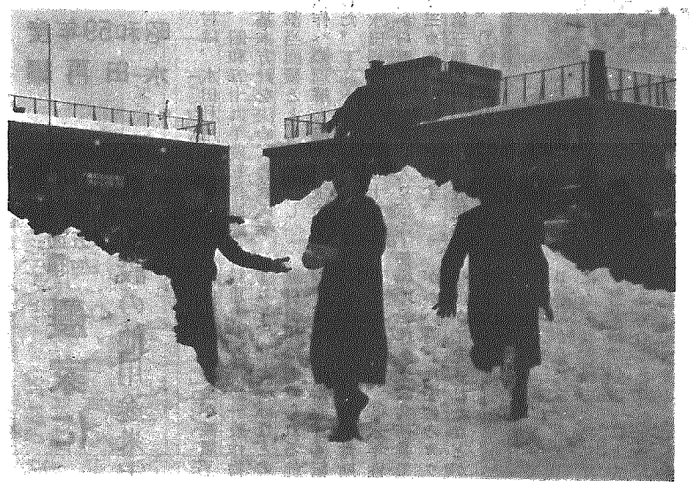
初の中学生交流実現

ようこそ美浦中

雪国の生活をじっくり味わう



両校入りまじって雪合戦

茨城県美浦村との交流をはじめて二十三年。初の中学生同志の交歓会が二月四、五日横越村で行われ、姉妹村交流の新しい一ページを加えました。

美浦中学校（海老原校長、生徒六四七人）二年生男女各十人と海老原校長ら引率者六人は、四日早朝本村に到着。北方文化博物館と水原町瓢湖の白鳥を見学したあと、横越中学校を訪れました。

横越中全校生徒は、体育館で歓迎、割れるような拍手で美浦中生徒は少し緊張気味。

横越中の生徒会歌、美浦中の校歌の合唱で交歓会の幕が開かれ、浅見村長の歓迎の言葉のあと、吉野和則生徒会長も「今は雪に囲まれた生活、雪を観察するなど、美浦村に体験できないものを横越村で体験し、村を理解してください」と歓迎。

一方、美浦中十文字健生徒会長は「美浦村でもこの冬はじめて雪を体験しましたが、こちらは雪が多いことに驚いています。雪国の生活や横越中生徒会活動を勉強したい」と挨拶、横越中に、イチョウの苗木、校庭の土、霞ヶ浦の水、書初めの作品を贈りました。

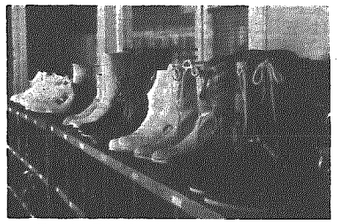
このあと、二年生の学級会活動に参加、意見を交歓し合っていました。

午後から横越中二年生生徒会役員と雪上レクリエーションで両校生徒入りまじって雪合戦やソリ遊びを楽しんだ。美浦中生徒は、長旅の疲れもみせず、雪の上で宙返りをしたりももまで埋まる雪の中を走り回ったり、倒れ込んだり歓声をあげていました。

夜は、二人ずつ分れて生徒の家に分宿、家族とのなごやかな語らいをしていました。

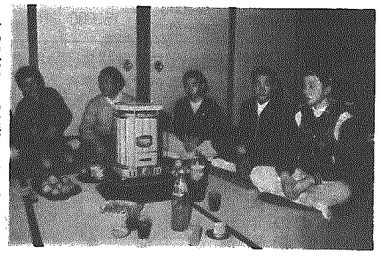
二日目は、生徒会交流で、美浦中生徒は、横越中の生徒会デーの運営や学級委員会のもち方、冬の部活動の練習方法などに活発な質問を浴びせていました。

「前向きな横越中生徒会活動が勉強になりました。皆さんが八月にくる時まで、美浦中生徒会活動を充実してお待ちしています」と述べ、美浦中生徒は帰宅の途につきました。

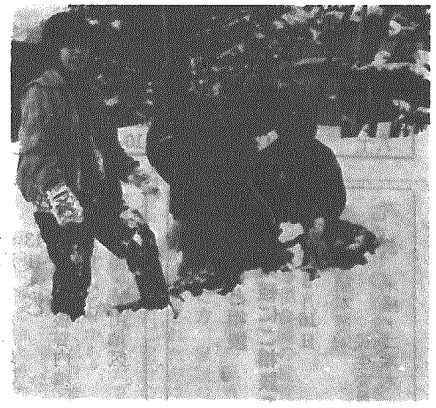


ブーツに縁のない美浦村、交歓会のために新調したとか

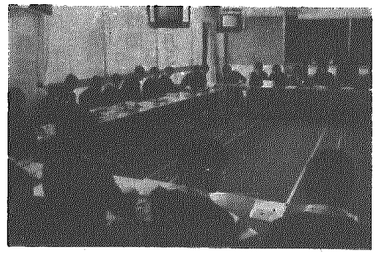
横越中全校生徒に歓迎され、やや緊張気味



分宿先でも家族となごやかなこん談



〝たのしーい〟と雪にはしゃぎ回る美浦中女生徒



生徒会活動に活発な質問

献血にご協力を　3月13日(火)

横越村農協前（午前10時から12時まで）　塚田牛乳前（午後1時から4時まで）

村公民館で59年新春俳句大会

村公民館主催昭和五十九年新春俳句大会が、一月二十二日開かれました。

兼題、主席、一句競吟の高点句は次のとおり。

○兼題高点句

一位
妻は妻の理屈を持てり
火を埋む　坪谷十九一

二位
埋火（うずみび）を堀って話が始りぬ
市村横雲子

三位
埋火や灰に字をかく父のくせ
小林　竹生

○席題高点句

一位
店の名の半纏（てん）渡り着衣始（きそはじめ）
加藤　喜秋

二位
着衣始め座せば冷えくる青畳
坪谷十九一

三位
初東風（はつこち）や村に最後の萱家（かやや）解く
佐藤　志残

○一句競吟（氷柱（つらら））

一位
牛病めば幾度とくぐる
夜の氷柱　笠原　茶山

二位
千本の氷柱が厳し修行寺
細山芳州子

三位
大氷柱育てしんしんたる月夜
坪谷　耕雨

阿賀野吟社も新春句会

同人「好月氏」の追悼句も

俳句同好会「阿賀野吟社」（代表田村きよし）の五十九年新春句会が、二月十一日に村公民館で開催、同人で一月に急逝された故渡辺一さん（俳号好月）の追悼句を始め席題、一句競吟などの句作を行いました。

題高点句は次の通り。

着ぶくれて似た者同志の
診療所　湖月

着ぶくれて潰し豆打つ母丸く
芳州子

風花や移動八百屋の歌流る
香峰

日脚伸び夕飾間のある
風呂の番　横雲子

着ぶくれて田舎芝居の
席を占め　鴉子

診療の医師着ぶくれて
脈を見る　一路

日暦をめくればかすか
日脚伸ぶ　牛歩

着ぶくれのあと先になり
園児ゆく　越雲

第66回全国商工会珠算検定合格者

二月十二日横越小学校で行われ、受験者数一九七人うち村外五六人、合格者は六二人村内合格者は次のとおり。

▽二級　若生真奈美、藤崎忠之、田村克也

▽三級　佐久間信子、円山幸子、本間絵利香、梅沢悦子、柴沢和美、谷内田智子、羽田恵、今井優佳子、大竹美雪、内山隆之、今井敏明、小畑真大泉正則、山崎美保、斎藤純子

▽四級　桜井徳人、小林優子、土田真伯、森山健史、阿部幸恵、佐藤陽子、加藤聡美、渋谷浩栄、十二正行、角田いづみ

▽五級　高橋直美、藤田茂、坂井智美、村木美和、酒井順子、星利沙子、若林恵子

▽六級　神田広晶、大森聡美、二野宮陽子、佐々木勝利

▽七級　徳吉佳奈恵、渡辺真弓、横山裕美、石塚宗徳、阿部晃子、小野塚夏織、荒井利昭

▽八級　市村広興、串田和成、笹川香

待望の公共下水道

4月に（川根谷内の一部）供用開始予定

昭和54年から進めてきた下水道事業、いよいよ3月末までに流域下水道新潟幹線一号と横越村公共下水道の接続がされることになりました。これによって、川根谷内地区の一部が4月から供用開始がされる予定です。

下水道の使用料は、水道の使用量に基づいて表1のとおり決定しています。

各家庭の水洗便所と公共下水道を接続するには、表2の村が指定した下水道工事店（3月中に指定予定）が配管工事等を行なってから使用することになります。

下水道使用料金表

（表1）

使用料（1カ月につき）		
基本水量	基本料金	超過料金（1㎥）
10㎥まで	1,100円	11㎥から20㎥まで　120円
		21㎥から30㎥まで　130円
		31㎥から50㎥まで　140円
		51㎥から300㎥まで　160円
		301㎥以上　180円

横越村排水設備等指定工事業者

（表2）

工事業者名	所在地	電話
㈱伊藤工業	京ケ瀬村大字窪川原	(025067) 2626
小木工業㈱	亀田町元町	(0253)82-3171
風間建設工業㈱	亀田町大字砂崩	(0253)82-7105
神田設備工業	横越村大字横越	2369
㈲佐藤工業所	亀田町稲葉	(0253)81-3507
新設工業所	亀田町曙町	(0253)81-4633
山田水道工事店	横越村大字二本本	(0253)81-4614

便所の水洗等に要する経費の一部を貸付けする制度があります。

- 貸付金……30万円を限度、連帯保証人一人必要
- 利　率……金融機関と協定した利率でその½を村で補助
- 貸付期間と返済方法……36カ月以内で元金均等月賦返済
- 貸付の時期……資金の借入れを必要とした工事の完了後

詳しくは役場建設企業課にご相談ください。

福祉法人社会福祉協議会職員（推進員）募集

職種　福祉推進員　一名
要件　大正13年から昭和4年生れの方で社会福祉に熱意のある者。
申込み　昭和59年3月15日まで（午後5時必着）社会福祉法人横越村社会福祉協議会事務局（役場保健福祉課内）
提出書類　履歴書、健康診断書
選考　書類選考の上、面接
待遇　月額九万円程度
採用　昭和59年4月2日予定、三カ月間の試用期間有